

2023 年度 学校法人 三幸学園 東京保育医療秘書専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高橋 タ子

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- (1)学校方針「連携」という目合わせのもと、教職員の情報共有や協力をするを目標に、授業・行事・実習・就職・学校生活指導全般の指導を行った。
- (2)カリキュラムマップに基づき、学習内容の順次性と、教科間の関連性を意識した授業展開を強化した。
- (3)ディプロマ・ポリシーに基づき、各教科が卒業までに身に着けるべき能力のどの項目と関連するかを意識した授業展開を強化した。

新型コロナウイルス感染法上の第5類への移行に伴い、通常の学校生活に完全に戻る年度となった。校内での課題感をもとに「連携」というテーマで教職員の大枠の目合わせを行い、学校運営を行なった。その結果、両分野ともに検定合格率・就職率は成果を出すことができたが、実習指導・評価についてはより一層の努力が必要であるという課題が残った。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- 1)オンデマンドで視聴できる保護者会動画を配信することで理念等の浸透に取り組んだが、視聴数が伸びずに周知・浸透まで至れていない。

② 今後の改善方策

- 1)周知方法の工夫。
- 2)入学後も保護者とコミュニケーションを取りながら周知を行う。

③ 特記事項

2025 年度より保育分野のみの運営になるにあたり、学校の将来構想の変革準備が必要。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- 1)ビジネスチャットツール(Teams)等を活用した情報システム化が進み、効率化なコミュニケーションが図られるようになったが、それに伴う個人情報の取り扱いや、使用のマナーなどの課題が見られる。

② 今後の改善方策

- 1)学内勉強会の実施。

③ 特記事項

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- 1)講義授業と演習授業の内容が点で終了してしまい外部実習までに繋がっていない。
- 2)職員の能力開発を目的とした研修の強化が必要。

② 今後の改善方策

- 1)外部実習に安心して臨める職員の配置設定、教科間連携を強化。
- 2)職員の意見等も聞き取りながら、研鑽を重ねられる研修の企画。

③ 特記事項

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- 1)目標喪失、意欲低下による退学者を減少させる。
- 2)卒業生の社会的活躍を確認することができていない。

② 今後の改善方策

- 1)入学後、進級後の早い時期に分野への意識ができるキャリアイベントを実施。
2024 年度より学園で許可された「キャリア探求活動」という活動を用いて、目標喪失を食い止める。
- 2)就職先への訪問等を強化し、卒業生との関りを持つ。

③ 特記事項

医療分野において、生徒数が少ない中で退学者も多くいたため退学率増。

その他学科は例年と比べ減少した。

		2022 年度	2023 年度
退 学 率	全体	9.0%	6.1%
	保育科	10.8%	6.7%
	こども総合学科	6.6%	1.5%
	医療秘書科	4.6%	20%
	医療 AI 科	12.5%	0%
就 職 率	保育	100%	100%
	医療	94.1% (医療秘書科は 100%)	90.9% (医療 AI 科は 100%)

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- 1) 卒業生への支援内容の確率がされていない。
- 2) 退学後についての支援体制は準備されていない。
- 3) 保育分野において、社会人スキルとされる「ビジネススキル」、「OA スキル」等の教育環境の強化が必要。

② 今後の改善方策

- 1) 卒業後1年以内に同窓会を実施し、卒業後も関係性を繋げていく。（求人斡旋、スキルアップ研修）
- 2) 退学者アンケートの結果も踏まえ、精神的や健康上の問題での退学者へは再入学の案内の実施も検討。
- 3) 社会人育成の観点を軸に、ビジネススキルや OA スキルを向上させる講習会を任意参加で実施を検討。

③ 特記事項

・オープンキャンパス時、課外活動の一環で在校生スタッフとして活躍している在校生が多い。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

1)こども総合学科 3 年生のインターンシップについて、実施を有意義にする方法や時期。

② 今後の改善方策

1)生徒・インターンシップ受け入れ先の双方に Win-Win であることを軸に改良する。

③ 特記事項

・避難訓練実施。(校内避難、校外避難場所への経路確認・移動練習)

(7)学生の入入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・2024 年 4 月より「東京立川こども専門学校」に校名変更（保育科・こども総合学科の2学科編成）
- ・2024 年度生募集について、募集目標を達成し多くの新入生を迎えた。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。
 今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

1) ボランティア活動の場の斡旋ができていない。

② 今後の改善方策

1) ボランティア募集の案内を校内掲示、地域のお祭り等への分野を生かした内容の参画を検討。

③ 特記事項

- ・地域のこどもたちを招待し、無料で遊び場を提供する「こどもひろば」を月1回開催。
- ・保育士養成科の職業訓練の受け入れを継続的に実施。
- ・立川市教育委員会後援のもと、中学生向けお仕事体験イベントを開催。
- ・小平市立第4中学校（職業体験授業）連携。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染法上の第5類への移行に伴い、学校生活も通常に戻る年度となるとともに若者の意志の変化に合わせた指導を意識する必要性とその難しさを感じる。校内での課題感をもとに「連携」というテーマで教職員の大枠の目合わせを行い、学校運営を行なったことで、両分野ともに検定合格率・就職率は成果を出すことができた反面、実習指導・評価についてはより一層の努力が必要であるという課題もある。今回ご意見を頂き、実習や就職後にどのような力や学びが必要だと、在学時や卒業後の生徒たちが感じているのかを知ることができた。より実践的な現場力を得られる、また学びたいと感じる魅力ある授業を展開する工夫が必要であることを再認識できたので、引き続き「連携」というテーマの下で学校一丸となり取り組んでいきたい。